

■中国：北京市の全需要家に自動検針システム導入を計画

地元紙によると、北京電力会社は2014年4月までに北京市の全需要家605万軒に自動検針システムを導入するとしている。同会社は、これまで高圧（契約容量100kVA以上）の需要家に対しては自動検針システムを導入済みである。計画によると2010年に6万軒の一般（家庭用）需要家について自動検針システムの試験を開始するとしている。また、年末までに1,000万軒の需要家に対応できるデータセンターを建設する予定である。北京電力会社は自動検針システムの導入によって、消費電力量を正確に把握できるとともに、投資検針員の削減、業務プロセスの効率化による収益増が期待できるとしている。